

平成27年度 第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の

サルによる被害防止管理委員会会議録

1 会議の名	平成27年度 第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議
2 開催日時	平成28年 2月23日 (火) 14時05分～15時02分
3 開催場所	富津市役所4階 401会議室
4 審議等事項	(1) 平成27年度事業の経過報告及び予算執行状況について (2) 平成28年度事業(案)及び予算(案)について
5 出席者名	(委員) 高橋 恭市、石井 清孝、渡辺 隆二、成川 正憲、 庄司 優人、茂田 達也、神子 勇、森 孝夫、 伊田 重美、武井 良彦、池田 文隆 (千葉県)平田 和弘 事務局 (調査団)直井 洋司、白鳥 大祐 (富津市)能城 雅幸、中後 秀樹、桐村 修司、知念 孝男 (君津市)矢野 淳一、當眞 紀子
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	3 人 (定員5人)
9 所管課	教育部生涯学習課文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
(富津市) 中後 生涯学習課長	<p>お待たせしました。本日、出席の連絡を頂いている委員、1名はまもなく到着という状況でございますが、平成27年度第2回天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を始めさせていただきます。</p> <p>会議を始めます前に、委員の皆さまに御報告申し上げます。</p> <p>富津市情報公開条例第23条1項の規定により、市の附属機関等である審議会等の会議は一部の場合を除いて公開で行うべきものとされております。</p> <p>この規定により、本日、本被害防止管理委員会会議を傍聴される方がいらっしゃいますので、御報告申し上げます。</p> <p>また、傍聴人の方には、受付の際にお渡ししました傍聴証に記載してございます注意事項をお守りいただくようお願いいたします。</p> <p>本日の会議は、出席者11名、欠席者2名、という予定でしたが、出席者の内の1名は向かっている最中であるということで現在の出席者は10名でございます。したがって、過半数の委員の出席を得ており、本委員会設置要綱第7条第2項により成立しております。</p> <p>会議に先立ちまして、委員長であります、高橋富津市副市長から挨拶を申し上げます。</p>
高橋委員長	<p>委員の皆様におかれましては、公私共に御多忙の中、御臨席を賜りありがとうございます。</p> <p>また、日頃当地域の文化財行政に御理解と御協力を頂きまして深く感謝申し上げます。</p> <p>昭和62年に設置されました当委員会でございますが、サルや猪・鹿等による作物への被害はいまだ多く、その役割は現在でも重要なものであると認識をしております。</p> <p>さて、本日の議題は 平成27年度事業の経過報告及び予算執行状況 平成28年度事業（案）及び予算（案） についての2件でございます。</p> <p>委員の皆様、様々な立場からの御意見、御提案等活発な審議をお願い申し上げます。</p> <p>本日はお忙しい中、千葉県教育庁教育振興部文化財課から平田様、にお越しいただいております。</p> <p>審議終了後、今後の方針等についてお話をいただく時間もございますので、何卒よろしく願いいたします。</p> <p>以上、簡単ではございますが、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。</p>

(富津市) 中後 生涯学習課長	<p>続きまして、桐村文化係長の方から、お手元に配布した資料の確認をお願いいたします。</p>
(富津市) 桐村 文化係長	<ol style="list-style-type: none"> 1 会議次第 2 委員等名簿 3 席次表 4 平成27年度事業の進捗状況 (『天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理 事業報告書(途中経過)』) 5 平成27年度予算執行状況 6 平成28年度事業計画書(案) 7 平成28年度事業予算案(案) <p>本日の会議資料は以上ですが、不足はございませんでしょうか。 ないようでしたら、資料の確認を終わります。</p>
(富津市) 中後 生涯学習課長	<p>次に会議の公開についてですが、この会議は、富津市及び君津市情報公開条例により一般に公開されます。公開の方法としまして、会議の終了後、会議録を作成し、両市のホームページにて公開します。</p> <p>これに伴いまして、会議録が会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するために、委員の中から2名の方に署名委員として署名を頂きたいと思います。</p> <p>議題に入る前に、2名の方をお選びいただき、後日、御署名を頂きたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>また、会議録作成のために録音させていただきますので御了承のほどお願いいたします。</p> <p>では、本委員会設置要綱第7条第3項の規定により、議長を高橋委員長にお願いします。</p>
高 橋 議 長	<p>規定によりまして、議長を務めさせていただきます。円滑な議事進行に務めてまいりたいと思います。</p> <p>それでは、議題に入る前に署名委員を2名決めたいと思います。こちらからの指名でよろしいでしょうか。</p>
委 員 一 同	(異議なしの声)
高 橋 議 長	<p>神子委員と茂田委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょ</p>

委員一同	<p>うか。 (異議なしの声)</p>
高橋議長 (君津市) 當眞副主幹(事) 文化振興係長	<p>では、議題に入ります。議題(1)平成27年度事業の経過報告及び予算執行状況について事務局の説明を求めます。</p> <p>事業の経過報告について説明させていただきます。</p> <p>資料『平成27年度 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業途中経過報告書』に沿って説明</p>
	<p>1. 被害防止について(資料: 1 ページから 4 ページ)</p> <p>(1) 電気柵による被害防止</p> <p>電気柵による被害防止については、維持管理及び改修を実施しました。</p> <p>①維持管理</p> <p>既存電気柵の維持管理については、月1回以上の点検や補修を行いました。宇藤原地区を囲う周回電気柵につきましては、年に3回、本被害防止管理事業により草刈りを行っております。</p> <p>②改修</p> <p>電気柵の改修については富津市宇藤原地区を135m程度、君津市平田地区を50m程度実施する予定でございます。</p> <p>(2)被害多発期の追い払いによる被害防止</p> <p>8月12日から9月6日までの26日間、延べ31人で実施しました。</p> <p>(3)被害実態調査</p> <p>今年度の3月に実施する予定でございます。</p> <p>2. 生態調査と個体数管理(資料: 5 ページから 9 ページ)</p> <p>(1) 生態捕獲と個体調査</p> <p>テレメーターを設置するために箱ワナを10台8箇所を設置し、今年度は2月6日迄の時点で9頭を捕獲することができました。その内の1頭は君津市の有害鳥獣捕獲により協力していただいたもので、その9頭の内5頭にテレメーターを装着することができました。</p> <p>(捕獲した9頭の個体のそれぞれの概要について、「資料7ページの表-2. 1」に沿って説明)</p> <p>今年度は前年度に比較して捕獲できた個体が多く、5頭にテレメーターを装着することができました。</p> <p>また、指定地域及び周辺の南側の区域で中々詳細が掴めないといったことがございましたが、今年度は君津市の尾崎で捕獲した個体にテレメーターを装着することができ、今後の南側地域の調査の足がかりになるのではないかと、ということで今年度事業の大きな成果であると捉えております。</p> <p>(2) 追跡調査</p>

(君津市) 眞副主幹 (事) 文化振興係長

27年度(2月現在)の追跡対象群は T-II群、石見堂群、旅名A群、新規テレメーター装着個体の群れ、合計6?7の群れが追跡可能という状況でございます。本事業でテレメーターを装着した個体については、T-II群・石見堂群・旅名A群に6頭、今年度新規でテレメーターを装着した調査中の個体4頭、合計10頭にテレメーター装着ができております。

i) T-II群

T-II群については、当初は、「ワカコ」、「ベリー」、「ハチ」の3頭の個体にテレメーターを装着しておりましたが、内2頭の追跡が不可能となり、現在は「ハチ」でのみ追跡しております。「ワカコ」についてはテレメーターの電波が受信できない状況となり、「ベリー」については交通事故による死亡が確認されております。遊動域については平成25・26年度と大きく変わらない遊動域となっております。個体数については、1月末の時点ではカウントする機会が得られておりませんが、平成23年度事業で20頭をカウントし、昨年度の環境省事業では15頭から17頭程度の群れではないかという推測も出ているため、T-II群は20頭前後の個体数の少ない群れであると考えております。

ii) 石見堂群

テレメーター装着個体「イナ」の追跡により前年度に引き続き調査を実施いたしました。今年度の遊動域ですが、平成25・26年度の遊動域と比較すると西側に広がっている印象があり、調査が始まって以来はじめて石見堂群の遊動を確認したという地区もございます。

個体数については、1月末の時点では機会を得られておりませんが、昨年度は88頭をカウントしており、依然として、大きな群れで動いていることが想定されます。

iii) フジコの群れ

iv) タカコの群れ

v) ヌタエの群れ

iii~v、いずれも今年に入ってから新規でテレメーターを装着できた個体であり、最近テレメーターを装着したということで、本格的な追跡調査はこれから行う予定でございます。今回の途中経過報告の時点では群れの行動域は把握できておりません。

vi) 旅名A群

テレメーターの装着個体が4頭おり、今年度も追跡調査をしております。遊動域については、平成25・26年度の遊動域と比較すると狭くなったような印象を受けますが、1月末の時点では環境省事業と千葉県事業の追跡結果を加味していないため、遊動域の変化については、まだ狭くなったという断定はしておりません。

また、旅名A群ですが、今年度も環境省の交雑調査の対象モデルとして調査を実施中でございます。個体数については、本事業においてはカウントする機会を得られませんでした。昨年度の環境省事業では38頭をカウントしております。

vii) サイの群れ

今年度2月6日に君津市尾崎地区で捕獲しテレメーターを装着した

<p>(君津市) 當眞 副主幹 (事) 文化振興係長</p>	<p>個体であり、本格的な調査はこれからであるため遊動域ははっきりとしておりません。</p> <p>(3) 個体数管理 今年度の有害鳥獣駆除については、例年どおり、君津市農林振興課及び富津市農林水産課から資料を提供していただいた後に取りまとめる予定でございます。</p> <p>3. 天然記念物指定地域の環境改変と生息環境調査 (資料: 9 ページ) (1) 生息環境調査 今年度も例年どおり、富津市宇藤原地区の峰上ステーションで気温と降水量の測定を行いました。このデータについては、3月末に取りまとめる予定でございます。</p> <p>平成27年度事業の途中経過の説明は以上となります。</p>																											
<p>(富津市) 桐村 文化係長</p>	<p>それでは引き続き平成27年度事業の予算執行状況について御説明いたします。</p> <p>○予算執行状況について (資料: 『平成27年度 天然記念物 「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業予算執行状況 平成28年1月31日現在』に沿って説明)</p> <table data-bbox="470 1205 1145 1653"> <tr> <td>歳入</td> <td>(収入額)</td> <td>4,473,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内訳 富津市</td> <td>2,460,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>君津市</td> <td>2,013,000円</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>(支出済額)</td> <td>2,560,944円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内訳 報償費</td> <td>12,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>賃金</td> <td>2,062,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>旅費</td> <td>189,100円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>需用費</td> <td>288,712円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>役務費</td> <td>9,132円</td> </tr> </table> <p>予算執行状況の説明については以上となります。</p>	歳入	(収入額)	4,473,000円		内訳 富津市	2,460,000円		君津市	2,013,000円	歳出	(支出済額)	2,560,944円		内訳 報償費	12,000円		賃金	2,062,000円		旅費	189,100円		需用費	288,712円		役務費	9,132円
歳入	(収入額)	4,473,000円																										
	内訳 富津市	2,460,000円																										
	君津市	2,013,000円																										
歳出	(支出済額)	2,560,944円																										
	内訳 報償費	12,000円																										
	賃金	2,062,000円																										
	旅費	189,100円																										
	需用費	288,712円																										
	役務費	9,132円																										
<p>(調査団) 直井</p>	<p>事業報告について補足説明させていただきます。</p> <p>○資料 『平成27年度 天然記念物 「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業予算執行状況 平成28年1月31日現在』より補足説明</p>																											

<p>(調査団) 直井</p>	<p>調査用品の内、予算上は、テレメーターについては君津・富津市で2機ずつの合計4機ということで予算を組んでおりましたが、今年度は既に5頭にテレメーターを装着したということで、予算をオーバーするという形となりました。前年度までは中々テレメーターの装着に至らなかったという状況でしたが、今年度はスムーズに捕獲ができており、今後も、3月までの間に追加でテレメーターを装着できる可能性があります。</p> <p>テレメーターの予算を超過してしまうような分については、他の調査用品と調整をするといった形で対応したく考えております。</p> <p>例えば、今年度は、石見堂群の追い払いの時期の遊動域は、集落からは離れた所、例年よりは西側の山中にシフトしたということが確認されており、使用したロケット花火は非常に少なくなっております。</p> <p>ということで、予算のやり繰りの中で、テレメーターの装着ということに関しては、これまでで一番良い結果となるように考えております。電気柵についても、予算の範囲内で、できるだけ地元の要望に叶うような距離を改修しようと考えております。</p> <p>1月31日現在の予算執行状況については以上となります。</p>
<p>高橋議長</p>	<p>ありがとうございました。 説明が終わりましたので質疑応答に移ります。 何か御質問等ございませんか。</p>
<p>池田委員</p>	<p>サルの遊動域について、今年度はT-I群の調査結果は載せていないのでしょうか。</p>
<p>(調査団) 直井</p>	<p>T-I群については、今年度はテレメーターを装着している個体が居ないため、T-I群と特定して調査することが整わなくなっております。テレメーターがついていなくても、特長ある個体や群れの傾向で他の群れと区別はつけられますが、確実な特定ではないため、今回の報告には載せておりません。</p> <p>一方で、石見堂群について、かつてのT-I群のように、遊動域を、北へそして逆時計回りのように西へと変化させている様子が見られます。そうすると、かつて、石見堂群の西側を遊動域に使っていたT-I群はどこを遊動しているのかというのは気になる点でございます。調査の中で、群れの規模が大きく人馴れが進んでいるような群れに遭遇することがありました。それをT-I群と仮定した場合、高溝や大川崎付近などで群れを確認できております。</p> <p>石見堂群の行動域が一時的に西側に広がり出したものの、T-I群自体は、石見堂群の西南方向を行動域に使っているのではないかと、というのが現在のところの感想でございます。</p>

森 委 員 (調査団)直井	清和市場ではテレメーターの装着などはしていないのでしょうか？ 清和市場の方は本事業の範囲からははずれてはいますが、有害鳥獣捕獲で檻にかかれば千葉県の方でテレメーターをつけることは可能であると思います。
森 委 員 (調査団)直井	清和市場の方のサルは凶暴だということを耳にしておりますので、何とか、捕獲した個体にテレメーターを装着し調査などできればと考えてはおります。 捕獲檻などは設置しているのでしょうか。
森 委 員 (調査団)直井	以前はイノシシ用の檻でも捕獲できましたが、最近は、捕獲まで至らず苦慮しております。サルも利口になっているのではないかという印象を受けております。 かつては、高宕山、石射太郎で餌付けされていて、T-I群より分裂したT-Ib群という群れが高宕山方面から清和市場方面へと広がった経緯がございます。当初はテレメーターがついていたものの、そこから更に分裂し、清和市場に1群れ、清和市場の先にもまた別の群れとなったのではないかとみております。
森 委 員 (調査団)直井	(清和市場から)鹿野山を上がる道沿いにいる群れとはまた別の群れなののでしょうか。鹿野山へと上がる道沿いにもサルの群れがいます。 もしかしたら、T-Ib群から分かれた群れと関係があるのかもしれない。
森 委 員 (調査団)直井	(その群れのサルを)何とか捕獲し調査できないかと考えております。 本事業の中では、中々、(清和市場方面まで)捕獲檻を設置してテレメーターを装着するというのは難しい現状であり、有害鳥獣駆除の中で檻の対応をお願いしたく思います。
森 委 員	県から各自治会へサル用の捕獲檻を預かり活用させていただいていますが、中々、捕獲には至りません。サルが捕獲檻に入らなくなって

(調査団) 直井	<p>いると感じております。</p> <p>捕獲檻で捕まえにくいという現状は我々調査団も感じております。かつては、檻1台置いて、中にサツマイモをぶらさげておけば、捕獲に至っていましたが、このところはそういった従来のやり方ではサルが捕獲檻に入らなくなっております。</p> <p>ただ、今年に入って捕獲効率が良くなっているのは、以前にも報告のありました、環境省事業で特定の群れに狙いを定め、1箇所には10数台の小型檻を設置して餌付けをし、捕獲するという事で大きな成果を上げたという事例がございました。それに伴って、(環境省事業に現場で従事していた) 調査団メンバーの技術的な積み重ねもあり成果に繋がっていると感じております。そうした技術的なことをお伝えする場があれば、と考えております。</p>
高橋委員長	<p>他にございますか。</p>
神子委員	<p>群れから離れた“ハナレザル“について天神山地区でも確認されている。これについても、有害鳥獣の捕獲檻で捕まえてテレメーターをつけた方がよいのでしょうか。</p>
(調査団) 直井	<p>今までは有害鳥獣駆除は銃器により実施してきましたが、対象のサルを駆除するという以上の効果はなかったと感じております。</p> <p>また、駆除はしているが、サルが減っているという実感、(農作物などへの) 被害が減っているという実感がありません。</p> <p>例えば、50頭の群れから5頭駆除したとしても、残りは45頭であり、次の年にまた新しい個体が産まれることを考えると中々に状況は変わりません。また、5頭駆除したからといって、(農作物などへの) 被害が5頭分だけ減るかといったらそういうわけではありません。</p> <p>県或いは国の方では、サルは群れによる管理ということで、サルにテレメーターを装着し、行動域と個体数を把握し、どこに出てどういった範囲で動き、同じ地区にいくつの群れがあるのか。そういった点を把握した上で群れを特定し、群れ毎の加害度合い等の性質に合わせ捕獲計画を立てる、或いは、集落から近い所にいるようなサルの群れはあえて捕獲をせずにきちんと管理するような形で、より集落からは遠い所にいる群れの動きを抑えるような防護策を取ることも必要であると思います。</p> <p>農家の方から近い所に出没しているサルの群れを全頭取り除いても、より遠い所にいる群れがまたスライドしてくるだけであります。</p> <p>ですので、集落などから近い所にいるサルの群れをしっかりと管理し、日々の遊動を把握しつつも、より遠い所にいる群れを抑えるということもしなければならないと思います。</p> <p>千葉県下を見ても、そういったことをやっているのは、高岩山周辺の地域以外に中々ありません。他の地域でもそういった群れ単位での</p>

<p>神子委員</p>	<p>管理がはじまっていけば、とは考えております。</p> <p>ただ、イノシシとサルとでは餌が違い、イノシシによる被害の方が金額的にも大きいのでイノシシ対策を重点的に実施しているところがございます。</p> <p>しかしながら、サルも2ヶ月に1回程度の頻度で回ってきており、今、同じ群れが海良から十宮の海岸にかけて出没するのが確認できているため、テレメーターを装着し追跡調査したほうがいいのかと考えているところです。箱罟や捕獲檻を設置し捕獲を試みるにしても、マス目が大きい檻（イノシシ用など）だと捕まっても逃げてしまいます。</p> <p>ただ、イノシシとは餌が異なるためかそもそも檻にかからない点に苦慮しているという現状でございます。</p>
<p>(調査団)直井</p>	<p>サツマイモ、であればイノシシとサルとの共通の餌であれば使えます。</p>
<p>神子委員</p>	<p>イノシシは檻の中にサツマイモを入れていても中々食べません。</p>
<p>森委員</p>	<p>イノシシの檻に、サツマイモを綱に縛った状態で設置し、別途、イノシシ用の餌も巻いておく。そうすると、サルもイノシシも檻に入ってきます。</p>
<p>(調査団)直井</p>	<p>私共も、サル用の捕獲檻で、タヌキ・ハクビシン・アライグマがかかっていることがあります。この内、ハクビシン及びアライグマについては外来種であるため市役所にお問い合わせをすれば駆除をしてもらえます。サルを捕まえるための檻ではあるけど、その他の有害鳥獣を捕獲する許可も同時にその捕獲檻に対してとっておく。イノシシとサルということであると、現状では、共通で捕まえられる檻はまだ開発されていないですが、今後開発される可能性はあると思います。</p> <p>また、海良近辺に出没している群れが1つであるとするれば、テレメーターを装着させることができれば、その日、サルの群れがどこにいるかわかり、地元の方も対処がしやすくなり有効であると考えております。</p>
<p>森委員</p>	<p>ハナレザルですが、やはり、随所でみられるものなのでしょうか。</p>
<p>(調査団)直井</p>	<p>例えば、群れに50頭いるとして、オトナオスはせいぜい4・5頭程度であり、逆に、オトナメスはその倍以上はいます。性比がオスとメスとではほぼ1：1程度で産まれるとすれば、その他のオスは一体どこにいるのか。そういったオトナオスがハナレザルになっているので</p>

森 委 員	<p>はないかと感じております。 ハナレザルへの対応に苦慮しております。</p>
(調査団) 直井	<p>例えば、宇藤原地区であれば、サルの群れが集落の中に侵入するといったことがございます。それよりは、一旦、集落の中に侵入してしまったハナレザルへの対応に苦慮しています。どこにいるかわからず、気がついたら、農作物等に被害が出ている。まだ実証できているわけではありませんが、ハナレザルを狙った捕獲を検討していかなければならないと考えております。</p>
池 田 委 員	<p>6 ページの捕獲檻の設置場所について、この場所に檻を増やす、といった予定はありますか。</p>
(調査団) 直井	<p>尾崎でテレメーターを装着することができましたが、南側地域の群れについたのは本事業の歴史の中ではじめてでございます。尾崎でテレメーターを装着した群れがどのような動きをするのか。群れの動きを見て、その群れに更にテレメーターを装着するのか、或いは、それはしなくても、例えば、富津市の宇藤木周辺で新しい捕獲ができないか考えているところでございます。</p>
高 橋 議 長	<p>他に御質疑等はございますか。他に御質疑もないようですので、議題（1）平成27年度事業の経過報告及び予算執行状況について、御承認頂けますか。</p>
委 員 一 同	<p>（異議なし）</p>
高 橋 議 長	<p>どうもありがとうございます。本件は承認されました。 続きまして、議題（2）に移ります。 議題（2）平成28年度事業計画（案）及び予算（案）について事務局の説明を求めます。</p>
(君津市) 當眞 副主幹（事） 文化振興係長	<p>平成28年度の事業計画（案）について御説明いたします。 資料：『平成28年度 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業計画書（案）』に沿って説明 （1）被害防止事業 ①既設電気柵の維持管理 ②被害多発期の追い払いによる被害防止 ③被害実態調査</p>

<p>(君津市) 當眞 副主幹 (事) 文化振興係長</p>	<p>(2) 生態調査と個体数管理 ①指定地域とその周辺に生息する群れの生態と個体数 ②T-I群の生態に関するデータの取りまとめ。 ③個体数管理 (3) 天然記念物指定地域の生息環境調査と環境改変 ①生息環境調査 ②環境改変</p>																											
<p>(富津市) 桐村 文化係長</p>	<p>それでは引き続き平成28年度予算案についてご説明いたします。 ○平成28年度の事業予算(案)について 資料:『平成28年度 天然記念物「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業予算(案)』に沿って説明。</p> <table border="0" data-bbox="470 712 1145 1153"> <tr> <td>歳入</td> <td>(委託料)</td> <td>4,473,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内訳 富津市</td> <td>2,460,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>君津市</td> <td>2,013,000円</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>(予算額)</td> <td>4,473,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内訳 報償費</td> <td>71,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>賃金</td> <td>2,804,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>旅費</td> <td>286,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>需用費</td> <td>1,290,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>役務費</td> <td>22,000円</td> </tr> </table> <p>平成28年度予算(案)につきましては以上です。</p>	歳入	(委託料)	4,473,000円		内訳 富津市	2,460,000円		君津市	2,013,000円	歳出	(予算額)	4,473,000円		内訳 報償費	71,000円		賃金	2,804,000円		旅費	286,000円		需用費	1,290,000円		役務費	22,000円
歳入	(委託料)	4,473,000円																										
	内訳 富津市	2,460,000円																										
	君津市	2,013,000円																										
歳出	(予算額)	4,473,000円																										
	内訳 報償費	71,000円																										
	賃金	2,804,000円																										
	旅費	286,000円																										
	需用費	1,290,000円																										
	役務費	22,000円																										
<p>高橋議長</p>	<p>説明は終わりました。 ただいまの説明について何か御質問等ございますか。</p>																											
<p>武井委員</p>	<p>環境改変について、第1回目の会議の際に、環境改変における事業規模が話題に出たかと思えます。今の試験地の規模は小さいのではないかと考えておりますが、どのように考えているのでしょうか。</p>																											
<p>(調査団) 白鳥</p>	<p>環境改変という名称にはなっているものの、改変まではいっておらず、成長量の測定に留まっている現状でございます。</p>																											
<p>武井委員</p>	<p>本事業における調査という解釈で考えるといかがでしょうか。</p>																											
<p>(調査団) 直井</p>	<p>昭和55年に文化庁より補助金を受けて本事業を立ち上げた際に、高岩山の山奥の方は、植林地が多くサルの食べ物が少ないため周辺の</p>																											

<p>(調査団) 直井</p>	<p>集落に出てくるのではないかという考えがありました。それに合わせて、県有林・国有林の伐採を行うということで、君津側の県有林の伐採地に対して、栗や豆柿等の植樹を行いました。そうしたものの成長量の測定をしていることが一つ。</p> <p>また、富津側の国有林については、天然更新ということ、伐採を行った後どういった樹木が自然に育っているのか測定をしております。調査としてはモニタリングに留まるものであり、広い規模ではできておりません。加えて、山の環境を変えてしまえる程の大きな実験をやっているというわけではありません。</p> <p>現実としては、サルのために山の環境を良くしたからといって、サルが元の場所に戻るわけではないということは、過去30年間の調査の積み重ね及び他自治体の事例から推し量ることができます。</p> <p>一方で、広葉樹自体は、炭焼き等をやらなくなった関係があり、桜の木などが大きく成長してきております。これはこれでサルにとっていい環境になっているかもしれません。これについての考察は具体的にやれているわけではありませんが、戦後の炭焼き産業が次第に放棄されていく中で、山は、林業から見れば荒れているという見方となるかもしれませんが、自然から見れば自然が回復しているとも見ることができます。とすれば、そこにいるサルは、小さな群れで細々と生活していたのが、食糧事情が良くなり群れの規模が大きくなり、周りのサルを押し出しているというような状況であることを考えることもできます。</p> <p>環境改変に力を入れるとするならば、そこら辺の、山の環境の変化とサルの関係について意識しなければならないと思います。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>他に御質疑等はございますか。他に御質疑もないようですので、議題（2）平成28年度事業計画（案）及び予算（案）について、御承認頂けますか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>（異議なし）</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>どうもありがとうございます。本件は承認されました。続きまして、議題（3）その他に移ります。何かございますでしょうか。</p> <p>ないようですので、以上で本日の議題を終了とさせていただきます。続きまして、本日、千葉県教育庁教育振興部文化財課より平田様が見えておりますので、お話を伺いたく思います。千葉県文化財課の平田様、お話をお願いします。</p>

<p>県文化財課 平田主任上席 文化財主事</p>	<p>今年度は捕獲が好調な点など明るい話題もございました。</p> <p>しかし、生態を全域として把握し、各群れの生態・構成、それをどう管理し被害をどのように効果的に少なくしていくのか。それらの実現のためにはもう一步踏み込んだ調査が必要であると考えております。そして、最後に、保存管理計画を立ててそれぞれの群れの特性に応じた対応を取っていけるようにしていただければ、と考えております。</p> <p>度々の案内となり恐縮ですが、国の力をお借りするなど、そういったことも含めて検討いただければと考えております。</p>
<p>高橋委員長</p>	<p>折角ですので、平田様に何か御質問等ある方はいらっしゃいますか。</p>
<p>(富津市) 中後 生涯学習課長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、平田様には課題も頂きましてありがとうございました。</p> <p>当委員会としても前向きに検討していきたいと思っております</p> <p>皆様の御協力のもと、本日の議題は終了となりました。</p> <p>これにて議長の職を解かせていただきます。</p> <p>御協力ありがとうございました。</p>